



東アジア経営学会国際連合 産業部会会報

International Federation of East Asian Management Associations
The Newsletter of IFEAMA Industry Section

第10号

2019年1月

第15回東連国際大会(京都大会)に向けたお願い

本年は、東アジア経営学会国際連合 (IFEAMA) の国際学会が6月に京都大学にて開催される記念すべき年となります。

この度、大会実行委員長の塩地 洋氏(京都大学院経済学研究科教授)より、新年の挨拶及び京都大会に向けてのお言葉を頂きましたので、ご紹介させていただきます。

【大会日程】 2019年6月18日(火)～19日(水)

【開催場所】 京都大学(百周年時計台記念館)



【大会テーマ】 Innovation Management for the Sustainable and Inclusive Development in a Transforming Asia
(変貌するアジアにおける持続可能で包括的な開発のためのイノベーションマネジメント)

本年6月17日より東アジア経営学会国際連合第15回国際大会が京都大学百周年時計台記念館において開催されます。日本では7年ぶりですが、初めて京都の地で開催することになりました。

産業部会の皆様方には、常日頃、東連の研究および実務等の領域でたいへんお世話になっており、心より感謝申し上げます。

第15回東連国際大会におきましても様々な面でのご協力をお願い申し上げます。

なお近年、京都には海外からの観光客が急増し、宿泊先を確保するのが難しくなっております。大会実行委員会は既に複数のホテルで数十の部屋を海外からの参加者や理事会員のために予約しておりますが、産業学会の皆様方には可能な限り早い内に予約されますことをおすすめ申し上げます。



第15回国際大会実行委員長
京都大学教授 塩地 洋氏

東アジア経営学会国際連合第15回国際大会 於京都大学百周年時計台記念館

2019年6月17日	午前 インダストリアル ツアー 午後 理事会
6月18日	午前 プレナリー セッション 午後 パラレル セッション レセプション
6月19日	午前 パラレル セッション 産業部会セッション 午後 理事会 プレナリーセッション

「民事再生を申し立てた会社がなぜ自主独立再建できたか」

齋藤 元誉氏(ライフ株式会社 代表取締役社長)

ライフ株式会社は創業70年の文具紙製品の製造卸業の会社です。

今から30年ほど前には年商42億円従業員数120人程の会社になりました。しかし売上は上昇しても決算は赤字でした。その後、リストラを進めましたが、追いつかず、2000年8月に、東京地方裁判所に民事再生法に基づく財産保全の申立を行い事実上倒産致しました。

私の前職は化学品の専門商社に勤務しており一生サラリーマンでいるつもりでしたが、2000年の正月明け、当時ライフ株式会社の社長の父と常務取締役



の兄に呼び出され、会社が倒産寸前であることを知らされました。その後、幹部会議にアドバイザーとして、参加させていただき、どんどんライフに引き込まれてしまいました。兄は、リストラを性急に行ってしまったがために、一部の社員が外部から労働組合を呼び寄せ、会社は大混乱になるのと同時に、2000年の8月下旬には資金ショートするのがわかり、破産を覚悟で当時の顧問弁護士に相談をしました。弁護士からは、その年の4月に施行された、民事再生法を利用しては、と言われました。

私は、親族の犯した責任として、前職を退職し、ライフ株式会社の代表取締役となって会社再建に務めました。当時37歳だったこともあり、朝5時に家を出て、9時まで出荷作業を行い、日中は債権者や労働組合などの交渉や事務仕事を行い、夕方出荷作業を行い、帰宅が深夜という生活を約1年半程行いました。体が本当にふらふらになり、その時飲んだリポビタミンDは、本当に体中しみわたりました。

民事再生申立後の年に、リストラを行い、92名いた社員を47名に、翌年30名に、翌々年26名して、どうにか収支のバランスが取れてきました。その間にも、なんと大阪支店が火事になり全焼、もうこれで、会社もおしまいだと思ったところ、火災保険が下りて、資金が繋がったり、また、民事再生の難しいところは、最終損益の益金で返済するところとあり、通常最終利益には40%程度が課税されるためせっかく血のにじむように稼ぎ出した利益が税金に消えてしまうところでしたが、倒産当時在庫が5億円ほどあり、そのうち、3億円が不良在庫があり、これで、利益をつぶして、返済金にあてることができ、なんとか、再建できる見込みがでてきました。

そんな時、東京商工会議所から特別融資相談会の案内がファックスできました。ダメもとで申し込んだところ、日本政策金融公庫のご担当者から、難しい案件ですが申し込んでくださいとのこと。担当の方からの助言でハードルの低い支店決済が出来る2000万円で申し込みをしました。審査が進行する途中担当の方から融資額3000万円にしませんかとのこと。言われるままに変更したところ、全額融資いただけました。そのお金をみずほ銀行に入れたところ、みずほ銀行からも融資を頂けるようになり、会社は資金的に大幅に楽になりました。

2010年最終の民事再生債権を支払い完了した後、すぐ、保証協会の整理課に伺い、民事再生事件終了の報告に伺いました。担当者の方に、今後ライフ株式会社に再び保障いただけるようお願いしたところ、「齋藤社長それは出来ません。保証協会のお金は税金で民間と違い債権のカットは出来ません。これが民事再生の法律の穴なんです」と言われました。ライフ株式会社が存続する限り、堅気(かたぎ)にはなれないそうです。

◎三井 一郎氏

本会の発起人の一人に名を連ねました三井一郎ともうします。幹事会に出席し会計を担当しています。



IFEAMA ネパール大会(2017年)にて

私は40年余コマツという会社で建設機械、産業車両という商品を通じてグローバルビジネスの経営に携わってまいりましたが、縁あって当部会の親団体である東連(東アジア経営学会国際連合)の活動にも参加することになりました。

そこでは東アジアの学者間の活発な議論が展開され、とても啓発される活動でした。その間企業経営者、管理者との交流も欲しいという声もあって本産業部会を立ち上げることになったわけです。

私にとってはコマツでの経験はさておき、我が国の大部分を占める中小企業経営者、特に若手経営者が待ち受ける困難、壁にどう対処し乗り越えたのかを、この本産業部会の“サロン”などの場を通じて議論することがとても刺激的な活動にみえました。期待を持って議論の行く末を見守ってゆきたいです。

<追記>他方では、ゴルフにソフトボールにと依然活発に運動をしており、お酒大好き人間でもあります。
大いに 飲みながら議論したいものです。

◎川村 千鶴子氏

貫 隆夫先生にご紹介を賜り産業部会に参加させて頂いております。

慶應義塾大学商学部(村田ゼミ)とオハイオ州立大学でもマーケティングを学びました。移民政策を専門としております。

2019年4月より外国人労働者の受け入れを拡大する改正出入国管理・難民認定法が成立しました。円滑な新制度の導入には、何が課題であるのか、労働政策のノウハウだけでなく幅広い見直し論議が欠かせません。

何卒ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

元大東文化大学環境創造学部教授、移民政策学会理事

日本オーラルヒストリー学会理事、日本島嶼学会理事

NPO 法人ミクロネシア振興協会顧問



著書に、
『多文化都市・新宿の創造 - ライフサイクルと生の保障』 慶應義塾大学出版会 (2015)
主な編著書に
・『いのちに国境はない - 多文化「共創」の実践者たち』 慶應義塾大学出版会 (2017)
・『多文化「共創」社会入門』 慶應義塾大学出版会 (2016)
・『多文化社会の教育課題』 明石書店 (2014)
・『統計データで読み解く移動する人々と日本社会』 ナカニシヤ出版 (2013)
・『3.11 後の多文化家族』 明石書店 (2012)
など多数あり。

【次回産業会サロンのご案内】

次回のサロンを以下の通り開催します。

■日程：2019年 2月 15日(金)

■時間：18時30分～21時00分(予定) ※受付は18時より開始

■会場：(スペースー直営)野口英世会議室 東京都中央区八重洲2-6-2
ヒューリック八重洲第三ビル内。

<講演>

講演者：三井 一郎氏(国土舘大学特任教授、元小松フォークリフト 代表取締役社長)

テーマ：『製造業は生き残れるかーグローバル化と M&A の視点からー』



【会場】 (スペースー直営)野口英世会議室

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-6-2。ヒューリック八重洲第三ビル内

(八重洲ブックセンターとコンビニエンスストア(ローソン)との間の路地を入り50M先の右手のビル。

※1階にある『つちや歯科』が目印です。

【アクセス】 JR東京駅 八重洲南口もしくは東京メトロ銀座線京橋駅7番出口(明治屋出)からが便利です。

■ 申込方法：参加ご希望の方は、下記メールもしくはお電話にてお申し込みください。

■ 産業部会事務局(担当：飛田)

E-mail: info@ifema-jis.com、 TEL:090-3596-7910(当日連絡先兼用)

ご連絡時に、ご氏名、ご所属(会社名など)ご連絡先をお伝えください。

【編集後記】

会報誌第10号は、主に貫、折原が担当致しました。

次回サロンの日程ですが、2019年5月18日(土)午後6時30分より予定しております。

講師は、千葉商科大学 池田 武俊氏(サービス創造学部 准教授)を迎えます。

テーマは『サービス業における生産性向上のためのマネジメント』(予定)です。

また年次総会は、8月3日(土)10時～13時を予定しております。

皆様やご友人の方のご参加をお待ちしております。

■発行責任者：望月邦彦(産業部会 部会)

■発行日：2019年1月